

### 湊祐介選手金メダルを獲得

#### ユニバーシアード冬季大会

イタリア・トリノで開催されたユニバーシアード冬季大会でノルディックスキ複合個人スプリントで金メダル、複合個人で銀メダル、複合団体で銅メダルを獲得した本市出身の湊祐介選手の優勝報告会・世界選手権激励会が2月5日、母校の鷹巣農林高校で開かれました。

この催しは生徒会が先輩の活躍を祝うとともに、世界選手権に向けて激励しようと思われたもので、在校生が拍手で迎える中、湊選手が会場の体育館に入場。



在校生から花束を贈られる湊選手

### 善男善女が厄払い祈願

#### 市内各神社で年祝い行事

2月1日、市内各地区の神社で無病息災を祈願する厄払い行事が行われました。

今年の大厄は、早生まれを含む昭和50年生まれ(33歳)の女性、同41年生まれ(42歳)の男性、同21年生まれ(62歳)の男性の方たちで、各地区の神社では、この一年の厄年を無事に乗り切れるよう、宮司からお祓いを受け、厄除けを祈願しました。

米内沢神社など一部の地区では、42歳の男性を中心に33歳の女性らで実行委員会を組織し、62歳と88歳の米寿を迎えた男性をもてなす「厄払い行事」が代々受け継がれています。また当地方では、大厄とされる33歳の女性が昔ながらの和装でお参りする風習が残っています。



62歳と88歳の米寿を迎えた男性をもてなす「厄払い行事」が行なわれた米内沢神社の厄払い

### 県芸術選奨ふるさと文化賞受賞

#### 鷹巣町女性史研究会

本県の芸術文化の振興に大きく寄与した方々を表彰する秋田県芸術選奨の表彰式が、2月2日、県正庁で行われ、鷹巣町女性史研究会が秋田県芸術選奨特別賞(ふるさと文化賞)を受賞しました。

同研究会は、郷土の女性人物の学習・研究を目的として昭和59年に発足。研究の成果を後世に残そうと、これまで「鷹巣町婦人会史(昭和63年発行)」、「鷹巣の風土に生きる(平成7年発行)」、鷹巣町の女性議員の足跡をまとめた書籍「明日を拓く(平成17年発行)」の3冊の本を発刊しています。

このたびの受賞は、20年以上にわたり刊行などを通して地域女性の社会参画と足跡研究に寄与したとして賞が贈られたものです。



同会がこれまでに発刊した書籍類「鷹巣町婦人会史」「鷹巣の風土に生きる(昔ばなし、わらべ歌などのテープ付き)」「明日を拓く」

### 充実した組織づくりへ

#### 市老人クラブ連合会リーダー研修会

市老人クラブ連合会の単位クラブリーダー研修会が1月18日、合川農村環境改善センターで開催され、単位クラブのリーダー約150人が出席し、会員確保の課題などについて意見交換を行いました。

はじめに、佐藤喜美男会長が「団塊の世代が退職を控える中、今後、若い世代を我々の仲間に加え、充実した組織づくりを進めたい」とあいさつ。

研修会では「単位クラブの組織づくりと会員確保対策」と題した討論会を行い、活発な意見が出されていました。

この後、交流親睦会を挟み、合川支部の会員らが踊りなどのアトラクションを披露しました。



会員確保が課題と話し合う単位クラブリーダー

### 気を緩めず米作りに取り組んで

#### 作占い行事「雪中稲刈り」

小正月に行われる民俗行事「雪中稲刈り」が2月1日、綴子地内の大太鼓の館前で行われ、今年の稲作の豊凶を占いました。

今年の「稲」は、ほとんどが、直立で実の入らない不稔が見られたことから、今年は『不作』とのご託宣が下りました。

この行事は、1月15日に行われた「雪中田植え」で、苗に見立てて植えられた稲わらなどの「稲」の倒れ方などで作占いをする民俗行事です。

農業関係者らが見守る中、刈り取られた稲をJA鷹巣町組合員で篤農家の畠山喜久雄さんが見立てを行い「気を緩めず米作りに取り組む必要がある」と、注意を促しました。



稲に見立てた16株の稲わらを鎌で刈り取るJA鷹巣町青年部の九嶋敏昭部長

### 人と人との繋がりを根底に

#### 阿仁婦人会10周年記念新春交流会

阿仁婦人会10周年記念式典並びに新春交流会が1月21日、阿仁ふるさと文化センターで会員約150名が参加して行われました。

記念式典では、三杉営子会長が「地域の活性化運動に参加すると共に、人と人の繋がりを会の根底に据えながら力を合わせて頑張っていく」と挨拶しました。

引き続き、初代会長の浜田チャ氏に感謝状などの贈呈が行われた後、前森吉公民館長の金新佐久氏による「『凛とした女性に』品格ある生き方」と題した記念講演が行われました。また、アトラクションでは合川にわか劇団による「愛いちりんー昭和夢模様」が上演されるなど、充実した1日を過ごしました。



阿仁婦人会初代会長の浜田チャ氏に感謝状を贈呈する三杉会長